

国別 WID 情報整備調査【ミャンマー】（1999 年作成）概要

ミャンマーの女性の概況

- ◆ ミャンマーはインドと中国の間に位置し、この2カ国の古代文化の強い影響を受けてきたが、この国における女性の地位は5-9世紀の王朝の頃から常に高く位置づけられてきた。男女間の社会的不平等は見あたらず、文化、人種、階層によって差別されることもないが、これは土地の習慣による地域差にもよる。
- ◆ 人口的には女性の方が多く、46.01%が労働人口となっている（Myanmar Labour Force Survey）。また、女性は幼少の頃から家庭内外の仕事に従事するよう教育されている。
- ◆ 女性の教育に関しては、以前は女子を家事・育児労働のために学校に行かせず、家に留めるといった傾向があったが、現在どのレベルにおいても男女差は見られない。

WID/ジェンダーに関する政府の取り組み

- ◆ ミャンマー国家女性事業委員会は女性の地位向上に関する国家行動計画と目標を掲げ、活動実施のための各サブ委員会が設置された。目標は以下の6つ。
 - ① 【教育・訓練】
初等教育への普遍的アクセスの確立、女性の識字化、女性の職業訓練へのアクセス改善、女性と女子のための生涯教育と訓練の促進など
 - ② 【保健】
女性のアクセス向上、女性の健康促進に向けた予防保健プログラムの強化、HIV/AIDS・リプロダクティブヘルスの問題に関するイニシアティブ、女性の健康に関する調査促進と情報の普及など
 - ③ 【女性に対する暴力】
防止と減少に向けた包括的手法の採用、原因と結果および予防手段の効果性に関する研究、売春根絶・被害者支援など
 - ④ 【経済】
資源・雇用・市場・貿易への女性のアクセス向上、農村女性を含む低所得女性に対し、市場・情報・技術へのアクセスを促進するための事業サービスや訓練の提供、貯金と融資機構への女性のアクセス向上
 - ⑤ 【女子に関する問題】
女性に対する有害な文化的姿勢・習慣の根絶、女子のニーズと潜在能力への意識化促進、児童労働者に対する経済的搾取根絶
 - ⑥ 【女性と文化】
ミャンマー文化と伝統の保持・保護など

ナショナルマシーナリー

- ◆ 名称：国家女性事業委員会（1996 年設立）
- ◆ 目的：女性の地位向上と労働への完全参加を確立する。
- ◆ 機能：政府と NGO・地域社会の参加により実施される国家活動計画の促進。
- ◆ 特色：政府組織ではないため（メンバーは政府省庁の高官や女性の向上に携わる NGO のメンバーから公正されている。）、政府予算から特定の配分なし。資金獲得活動を実施しなければならず。（政府は社会福祉・救済・再定住省を女性事業の国家的中心組織として任命している）

教育分野における WID/ジェンダー

- ◆ 初等・中等教育就学率、女性の教師割合を見てわかるように、ミャンマーの教育は女性に焦点が当てられており、成人女性に対する識字教室・職業訓練も実施されている。
- ◆ EFA 宣言に基づき教育分野の国家目標が定められそれに沿った様々なプログラムが国際機関等の協力の下、実施されてきている。その目標のひとつとして、「現在の男女間の非識字率差を減少させるように女性の識字化に重点を置き、2000 年までに成人の非識字率を 1990 年レベルの半分まで減少させる。」ことを掲げている。
- ◆ 女性の職業訓練へのアクセスを高めるために、縫物・刺繍・家畜飼育などの訓練プログラムが人間開発イニシアティブプログラムの一環として UNDP や UNESCO との連携のもとに実施された。

- ◆ 教育をほとんど受けていない成人女性の適切なレベルで質の高い教育・訓練へのアクセスを確立するために、ミャンマー教育調査所と日本からの ACCU は女性と女子のための識字資源センターを開設し、継続して知識や技術を取得できるように幅広い教育訓練プログラムが可能であるように確立していくこととしている。

保健医療分野における WID/ジェンダー

- ◆ 国家保健計画には大きく分けて 6 つのプログラム分野があり、47 のサブプログラム分野が特定されている。女性に焦点を当てた、または女性関連の(サブ)プログラムは母子保健・家族計画・リプロダクティブヘルス・栄養改善・予防接種拡大プログラム・STD 抑制などがある。
- ◆ 国民に対するサービス改善にむけて努力がなされており、2000 年までに助産婦:人口比率は現在の 1:3870 から 1:3000 に、看護婦:人口は 1:4148 から 1:3215 と改善し、保健医療サービスも国境地帯や不利な地域にも拡大する計画である。
- ◆ 農村部においては、助産婦、訓練を受けた伝統的出産介助婦といった技術者の出産介助率は 83%であり、約 40%の出産は公立病院、2-3%が都市の私立病院などで行われている。
- ◆ 社会福祉サービスの目標を達成するために、8 種類のサービス(児童福祉、青年福祉、女性福祉、高齢者介護、障害者のリハビリテーション、ボランティア組織への援助補助金、浮浪者の再定住・居住、元麻薬中毒者のリハビリテーション)が実施されている。
- ◆ ヤンゴンとマンダレーには 18 歳以上の社会的困難に直面している女性の面倒を見る女性ホームが設置された。社会的ニーズに対応し、学術的教育と職業訓練を与え、仕事場所をアレンジする。売春婦用の成人女性向け訓練学校が開始され、収入創出活動を通し職業訓練やカウンセリング、制度上の問題に対処する。

農林水産業分野における WID/ジェンダー

- ◆ 農林水産分野における総労働者数 6,024,100 人中、女性は 41.67%を占める。
- ◆ 当分野において男女の権利について特別明記はされていないが、政府は男女に平等に対処している。
- ◆ 農業は主要経済部門であり他の経済セクター全般の発展・基礎としての農業発展は経済目標にも含まれている。この部門への国家投資は全投資の 13.1%(69 億 2100 万チャット)にも達し、畜産水産部門への投資は対全投資額 0.4%(2 億 1300 万チャット)である。
- ◆ ミャンマーでは手作業から機械化農業へ移行し、女性が男性を手伝って農業機械を操作することもある。
- ◆ 3重要水流域(東部シャン州、低地デルタ地域、中央部乾燥地域)における環境的に持続可能な食料保障とミクロ収入機会のプロジェクトが、FD と UNDP/FAO 合同で開始された。環境保全管理を通じた農村貧困層の食料生産と収入創出の増加を目的としている。農村地域の女性たちは積極的にシャン州水流域プロジェクトの女性収入創出グループやマングローブプロジェクトの小規模女性組合に参加している。

経済活動分野における WID/ジェンダー

- ◆ 加工/製造部門に対する国家投資の割合は対総投資額の 3.8%だった。(96-97 データ)。
- ◆ 96-97 年データによると加工・製造部門の企業は 49,201 あり、その中 3.3%が国営、1.3%が共同経営、95.4%が民間経営であった。1,212,400 人の雇用者中 504,300 人が女性である。
- ◆ 鉱工業部門では、101,700 人の労働者の中、女性は 11,900 人に過ぎず、彼女らの多くは何の専門技術も持たず、初歩的作業を受け持っている。
- ◆ 民間工業企業以外では、沿岸地域の女性のほとんどが魚のペーストと乾燥魚製造に従事。
- ◆ 女性/女子は編み物、縫い物、料理、果物加工、農業、家畜飼育といった特定の技術訓練を受けることができ、自分のニーズ、土地柄、生産物への潜在的市場などを考慮して最も適切な訓練を選択する。(訓練が終了すると、自営業を開始できるように必要備品が入手可能となり、備品を提供し、長期間かけて少しずつその費用を払い戻してもらう仕組み。受益者は 1998 年 12 月までで 15,000 人以上。)
- ◆ このほか、二方法の融資・ローン手法が実施されている。(組合形成または、地区や支部組織のメンバーにローンを提供する目的での融資とローン用の資金創出の2つ。)